



平成 26 年 9 月 18 日

各 位

会 社 名 日本アセットマーケティング株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 越塚 孝之
(コード番号：8922 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役管理本部部長 進藤 陽介
電 話 番 号 03-5667-8023 (代表)

資金調達に関するお知らせ

当社は、本日の取締役会において、資金の調達を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 賃料債権流動化を用いた資金調達の概要

株式会社みずほ銀行をアレンジャーとして、75億円の賃料債権流動化による資金調達の実施を決定いたしました。本調達は、当社がドン・キホーテグループ各社に対して有している賃料債権を裏付けとして調達を行うものであり、本調達の使用用途は、固定資産取得資金の確保及び固定資産取得のため資金調達を行った株式会社ドンキホーテホールディングスからの借入金の返済となります。

なお、アレンジャーより、賃料債権流動化に係るアセットバックローンの参加金融機関からコミットメント通知書の提出がなされた旨の連絡を受けております。

当社では、本調達にあたって、様々な手法を検討した結果、不動産を担保とする資金調達など他の手法と比較して、以下の二点において本手法が有利であったため、本手法を採用することにいたしました。

- ① 本手法は、格付を有し信用力が当社よりも高い株式会社ドンキホーテホールディングスのクレジットを活用することができるため、調達コストが大幅に軽減されること。
- ② 株式会社ドンキホーテホールディングスのクレジットを活用することにより、大規模な調達が可能になること。

なお、本調達は、平成25年11月21日公表、同年12月2日実行の資金調達及び平成26年4月18日公表、同年5月1日実行の資金調達の第三弾となります。

本件の資金調達の仕組みの概要は次のとおりです。

(資金調達実行日)

- ① 当社は、ドン・キホーテグループ各社に対して不動産を賃貸
- ② 当社は、信託設定日から信託終了予定日までの期間において当該賃貸借契約から生じるドン・キホーテグループ向け賃料債権をSPV（信託勘定）に信託譲渡して信託受益権（第一受益権及び第二受益権）を取得
- ③ SPVは、②により信託譲渡を受けた賃料債権を裏付けとして、レンダー・投資家からABLにより資金を調達
- ④ SPVは、③により調達した資金を原資として第一受益権を償還し、第二受益権は当社が保有

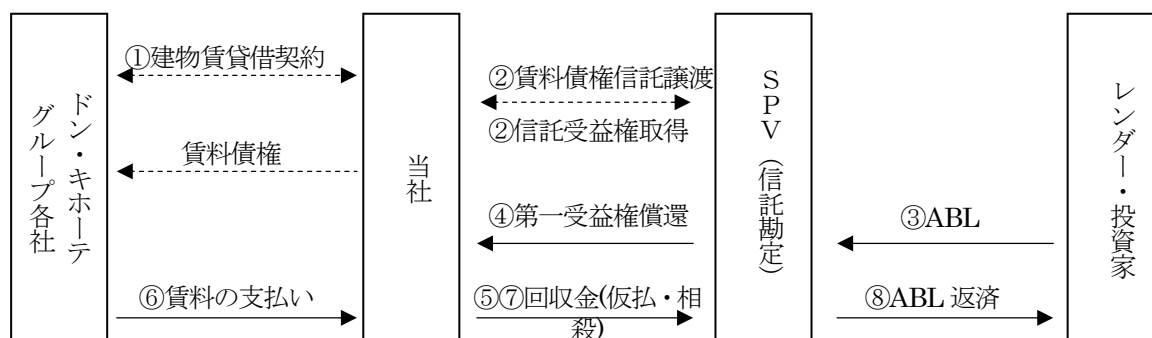
(期中)

- ⑤ 当社は⑥により受け取る賃料に相当する金額を仮払金としてSPVに送金
- ⑥ SPVより賃料回収委任を受けた当社は、ドン・キホーテグループ各社から賃料を受け取る
- ⑦ 当社は⑥の回収金の引渡義務とSPVによる⑤の仮払金の返還義務とを相殺
- ⑧ SPVは、⑦で受領した賃料を原資としてレンダー・投資家に対してABL元金及び利息を支払う

※ABL→Asset Backed Loan：特定の資産を裏付けとして実行される融資

※SPV→Special Purpose Vehicle：特別目的事業体。本件では信託勘定を利用

※本調達のスキーム図は、以下のとおりです。



主要な条件

オリジネーター	:	当社
賃料債権委託者	:	当社
受託者	:	みずほ信託銀行株式会社
対象債務者	:	ドン・キホーテグループ各社
サービサー	:	当社
裏付資産の概要	:	オリジネーター（当社）が対象債務者に対して保有する賃料債権
ABL実行金額	:	7,500百万円
契約締結日	:	平成26年9月24日
信託設定日	:	平成26年9月26日
ABL実行日	:	平成26年9月26日
信託終了予定日	:	平成33年8月20日
アレンジャー	:	株式会社みずほ銀行

2. 今後の見通し

平成27年3月期に与える影響については現在精査中であり、業績に重大な影響を与えると判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上